

## 3

# 食育推進の基本方針・目標

### (1) 基本方針

県民みんなが心身ともに健全で豊かな生活を送れるよう、行政、家庭、保育所・認定こども園・幼稚園・学校及び地域の多様な関係者が主体的かつ連携・協働し、食育を県民運動に広げていくため、第2次計画に引き続き、基本方針を次のとおり定めます。

## 県民みんなが学び、理解し、実践できる食育の推進

### (2) 重点取組

この計画では、これまでの取組で明らかになった課題を踏まえ、次の5つの取組を中心に食育を推進します。

#### ① 若い世代を中心とした食育の推進

子供のうちに健全な食生活を確立することは、生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育む基礎となるため、家庭や学校、保育所等と連携した取組を推進します。

#### ② 健康寿命の延伸につながる食育の推進

長寿社会の中で、県民一人一人の健康寿命の延伸につなげるため、健全な食生活を実践できるよう支援するとともに、メタボリックシンドローム等の生活習慣病\*の予防や改善の取組を推進します。

#### ③ 多様な暮らしに対応した食育の推進

少子高齢化が進み、単独世帯やひとり親世帯が増えている中、地域や関係団体の連携・協働を図りつつ、すべての県民が健全で充実した食生活を実現するために、食育推進運動の定着を図るとともに、コミュニケーションや豊かな食体験にもつながる共食\*を推進します。

#### ④ 食の循環や環境を意識した食育の推進

和歌山の豊かな自然の中で育まれた「食」に対する感謝の念を深めるため、農業・漁業体験や地産地消\*の取組などを通じ、生産者をはじめとして多くの関係者により食が支えられていることの理解を深めるとともに、食の循環を意識しつつ、食品ロス\*の削減等、環境にも配慮した取組を推進します。

#### ⑤ 食文化の継承に向けた食育の推進

生活様式が多様化し、地域の食文化が十分に継承されず、その特色が失われつつあるため、郷土料理や伝統食、行事食等の食文化に関する県民の関心と理解を深めることにより、伝統的な食文化の継承を推進します。

### (3) 数値目標

項目				現状値	目標値	最終評価(2022年度)調査
						調査名
① 若い世代を中心とした食育の推進	1	朝食を欠食する県民の割合の減少	小学生	1.1%(H28)	0%	児童生徒の体力・運動能力調査
			20歳代男性 30歳代男性	20.8%(H28) 27.5%(H28)	15%以下	県民健康・栄養調査
	2	学校給食の実施率の増加	小学校	98.0%(H28)	100%	学校給食実施状況等調査
			中学校	83.9%(H28)	100%	
	3	小・中学校における食に関する指導の全体計画の作成割合の増加		97.8%(H28)	100%	学校給食実施状況等調査
	4*	栄養教諭が全ての小学校、中学校、特別支援学校に食に関する指導訪問を実施する割合		49.9%(H29)	100%	健康体育課調べ
5	学校給食における地場産物を使用する割合の増加		25.7%(H28)	40%	学校給食における地場産物の活用状況調査	
② 健康寿命の延伸につながる食育の推進	6	和歌山版「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている県民の割合の増加		80.5%(H28)	85%以上	果樹園芸課調べ
	7	メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している県民の割合の増加		71.1%(H28)	80%以上	県民健康・栄養調査
	8	成人の1日あたりの野菜類の摂取量		257.7g(H28)	350g以上	県民健康・栄養調査
	9	1日あたりの果物類の摂取量		117.4g(H28)	200g	県民健康・栄養調査
③ 多様な暮らしに食育の推進	10	食育に関心を持っている県民の割合の増加		95.3%(H28)	100%	果樹園芸課調べ
	11	食育推進計画を作成している市町村の割合の増加		40%(H28)	100%	果樹園芸課調べ
	12	家族や友人と一緒に楽しく食事をする県民の割合		80.0%(H28)	90%以上	県民健康・栄養調査
	13*	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている県民の割合		78.7%(H28)	90%以上	果樹園芸課調べ
④ 食の循環や環境を意識した食育の推進	14*	食品を購入する際に「国産や地域の食品を選ぶ」とする者の割合		13.4%(H27)	17%	果樹園芸課調べ
	15*	食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合		48.1%(H28)	60%以上	果樹園芸課調べ
	16	食育情報を提供する店舗 和歌山食育応援店の登録数		321店(H28)	400店以上	健康推進課調べ
		食育情報を提供する店舗 「ふるさと和歌山食週間」推進店舗の登録数		91店(H28)	100店以上	果樹園芸課調べ
17	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている県民の割合の増加		60.9%(H27)	80%	食の安全・安心に係る県民アンケート	
⑤ 食承食育に文化の進化した継	18*	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている県民の割合		50.7%(H28)	60%以上	果樹園芸課調べ
	19	食育の推進に関わるボランティアの数の増加		2,527人(H28)	2,600人以上	果樹園芸課・健康推進課調べ

\*は新規項目